

教会創立103周年

週報

2025年8月3日 5353週

【今年度のテーマ・聖句】

「共に喜ぶ」

—ハレルヤ わたしの魂よ主を讚美せよ—

わたしたちの一つの体は多きの部分から成り立っています。すべての部分が同じ働きをしていないように、わたしたちも数は多いがキリストに結ばれて一つの体を形づくっており、各自は互いに部分なのです。（ローマの信徒への手紙 12章 4～5節）

巻頭言

牧師 加藤英治

私に影響を与えてくれた本⑧ 磯部隆『ローマ帝国とイエス・キリスト』

（新教出版社、2013年）

磯部隆さんは、私が名古屋大学法学部で西洋政治思想史を教わった恩師の一人です。磯部さんは、キリスト教の神学者でも牧師でもありませんが、この本はすごいです。今まで多くの神学者が見過ごしてきた「ローマ帝国とイエス・キリスト」の関係を導入して、新約聖書を新しい視点から読もうとするのです。「イエスは神の国が間近に迫り来るといふ緊迫感のなかで行動しているけれども、その神の国はローマ帝国の支配と独特な緊張・対立関係を持っていたにちがいない。——イエスは、ローマ帝国支配下の、貧しい農民、病人、汚れた霊につかれた人々、徴税人、遊女、罪人たちの現実のなかに深く入りこみ、両手で、心で彼らを支えようとし、その心の比類のない深さと広さのゆえに、普遍性をもつからである。こうした人々の背後には常にローマ帝国の支配という重圧があつたのだから、イエスの宗教的な心情や行為はその現実と接点を持ち、火花を放つのである。」政治学者ならではの視点です。

当時ローマで徳・愛とされたのは、「クレメンティア（寛恕）」という言葉でした。それは、政治的に対立した者、戦争で自分に負かされた者たちを赦し、受け入れることです。それがあくまでも「政治的計算」に基づき、他の正義・公正などの徳と両立しなければならぬとされています。その基準を外れて、特に災いの中の弱い人々を憐れんだり、「七の七十倍」も赦したりしてはならないのです。これに対してイエスが語り行つた「ふかいあわれみ」は、対極のものです。「放蕩息子は、父を死んだ者とみなしてローマ型都市に行った。だが実は、生命の源である神（父）から離れた彼自身の魂が死んでいたのであつて、ローマ型都市は死の町だった。『深くあわれむ』心とは死んだ魂をよみがえらせる心のことである。——物の所有にとらわれた公正感覚を突き抜け、死んだ魂をよみがえらせる力である。」

日本バプテスト シオン山教会

〒803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

TEL:093-561-0772 Fax:093-561-0760

E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

HP-address: <https://bapzion.com>



◆ 主日礼拝

午前 10 時 30 分

司会 木村正美執事
奏楽 山下一恵姉

前 奏
招 詞 ヘブライ 13 : 8、
頌 栄 670 (主のみ名をほめまつれ)
主の祈り (新生讃美歌の扉を参照)
交 読 平和宣言「みんなの平和こうどくぶん」
讃 美 92 (喜びたたえよ)
聖 書 申命記 5 : 1 ~ 7
(新共同訳 旧 289p 口語訳 旧 253p)
祈 禱
子どもメッセージ 加藤英治牧師
讃 美 131 (イエスのみことばは) 聖歌隊
宣 教 「今日、ここで 重ねて命じる愛」
加藤英治牧師
祈 禱
讃 美 526 (主よ わが主よ)
献 金 祈り : 山下 保兄
(兄弟会)
頌 栄 674 (父 み子 聖霊の)
祝 禱 加藤英治牧師
後 奏
報 告

◎今月の聖句

「平和を実現する人々は、幸いである、
その人たちは神の子と呼ばれる。義の
ために迫害される人々は、幸いである、
天の国はその人たちのものである」
(マタイによる福音書
5章9~10節)

今月の当番役員

酒井光子 安武由美子

本日の集会

教会学校

幼小科

10 : 30 ~ 11 : 40

中高科、青年・成人科

9 : 30 ~ 10 : 15

主日礼拝の当番

受付 : 船津丸泰 田中登美子

酒井光子(当番役員)

お花 : 酒井光子

主の晚餐式 11 : 50 ~ 12 : 05

配餐 : 木村正美 亀田千鶴子

下川礼子 酒井光子

常会 12 : 10 ~ 12 : 50

兄弟会バザー 常会后

召天者写真掲示 常会后

会堂清掃 常会后

◎今週の集会(8月3日~8月9日)

<聖書> 申命記 7 : 6 ~ 15

6日(水) 祈祷会 I 10 : 30

(奨励 : 加藤英治牧師)

6日(水) 祈祷会 II 19 : 30

(奨励 : 加藤英治牧師)

今週の聖書日課と祈り

3日(日) 申命記 5 : 1 ~ 6 坂田 友

4日(月) マタイ 5 : 17 島田利一

5日(火) 詩編 119 : 1 下川礼子

6日(水) マタイ 12 : 8 庄司 眞

7日(木) 箴言 22 : 22 庄司まり子

8日(金) イザヤ 49 : 13 白石保子

9日(土) 詩編 12 : 6 世良聡子